



大自然の中でお泊り保育

山県郡北広島町のログハウス“山の家”で白組さんが、小学生や学生ボランティアのお兄さんお姉さんと一緒にお泊り保育を楽しみます。農園に行くととうもろこしを収穫したり、グループでポイントラリーや、夕食のカレーライス作りなど、貴重な楽しい経験を沢山します。また夜にはキャンプファイヤーをした後、虫の声や葉っぱの揺れる音を聞きながら露天風呂に入ったり、スイカを食べたり、花火をして遊びます。

保護者の皆さんから離れ、大自然の中、たくさんの年齢の人と過ごすことで、協力することの大切さや自立の機会となればと思っています。



7月7日は七夕です。人日(正月)、上巳(桃の節句)、端午、七夕、重陽(菊の節句)は、昔から五節句といわれ、それぞれにちなんだ伝説や行事があります。

七夕は星まつりで、天の川をはさんで東西に位置するアルタイ星とベガ星をけん牛(ひこ星)、織姫(織姫星)と呼んでいます。この二人は仲が良すぎて仕事をしなくなったため、天の神の怒りに触れ、別れ別れになってしまったのです。しかし、それから二人は懸命に働き、一年に一度7月7日カササギの橋の上で会うことが許されたと伝えられています。

しかし、現実には、二つの星は、17億光年も離れていて永久に星が出会うことはありませんが、二人が出会うことができるようにとの願いから中国の人が考え出した美しい伝説です。

日本では、平安時代に宮中で行われ、年中行事のひとつになり、江戸時代になると民間でも広く行われるようになりました。



平成 25 年 7 月の園だより

できる子の育て方

空梅雨かと心配されていましたが、やっと梅雨らしくなりました。蒸し暑さが続いています。暑いからといってクーラーのかけすぎにならないように、お子さんには腹巻をつけてあげてください。

7月の園生活はプールや水あそび、泥んこあそびが中心になりますが、年長児では運動会が済んでからは、リレーや氷鬼、けいどろなどの集団遊びが見られます。室内においてもカプラやラQ(プラスチック製組み合わせ玩具)などの細かい作業に長時間取り組む姿が見られるようになりました。

「乳幼児期の子どもの生活はあそびにある」と言われるのは、この時期の子どもは言葉を通して理解するよりも、自分の身体を通して経験したことをもとに物事の判断をしようとする傾向があるからです。保育者は子どもたちを楽しく遊ばせながら、ボディ・ペインティングや色水あそびの中に、色の組み合わせの変化や筆の使い方に興味を持ってくれたり、運動会を通して、体力だけでなく、仲間意識や力を合わせる楽しさを味わってくれることなどを期待しているところです。

以前、塾の講師をしている小松公夫さんが、「できる子の育て方」と題して次のようなお話をしておられました。

「できない子の特徴」

- ①せっかちに結果を求め、がみがみ言う。
- ②子どもがいつも勉強していないと、気がすまない。

- ③偏差値、点数に一喜一憂する。
- ④受験(先)にあこがれ、夢ばかり追い求める。
- ⑤子どもの成長をほめない、驚かない。

「できる子の特徴」

- ①心にかかれた窓を持っている。(素直に聞く耳を持っていて、言われたことを試してみようとする)
- ②好奇心が旺盛(すぐ試してみようとする)。
- ③明るく元気(失敗を恐れない)
- ④負けず嫌い。
- ⑤工夫ができる(言われたこと以外にも別の方法がないか考える)。
- ⑥考えることをおっくうがらない。(すぐ手を出そうとするし、答えの見当をつけることが上手)。

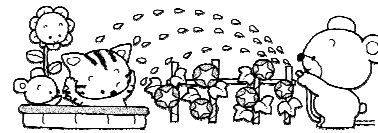
小松先生は塾の先生ですから、小学生向けの話をなさいますが、できる・できないは、小学校に入ってからではなく、乳幼児期の親の在り方次第のような気がします。

朝晩の送迎を見ていると、時間に追われているのか、「早くしなさい」とか、「何をしよるんね」など大声でどなっている人をみかけますが、「早く」とか「ああしろ・こうしろ」と指図していたのでは、自分で判断する力はつきません。

「子は親のかがみ」という言葉があります。子はどちらかの親の遺伝子をもっていて、早く成長する子もいれば、ゆっくりの子もいます。朝が忙しい人は少し早く起きるようにして、あまりせかさなくてもよいようにしませんか。

子育てのこつは、良いところから伸ばすことだと思います。

園長



子育て応援コラム

“子どもの言うことをよく聞いて、望むことを望むようにしてあげてください。たくさん甘やかしましょう。”と児童精神科医の佐々木正美先生は自身の本の中で言われています。しかし甘やかすということで、気をつけなければならないことは、「子どもが望んでいないことまでしてやること」とも言われています。では、子どもを甘やかすこととは、どんなことなのでしょう。

- ☆ぎゅっと抱きしめる 笑顔で抱きしめる
- ☆話しかける わからなくてもたくさん話しかける
- ☆待つ のんびり待つ
- ☆不安な気持ちを受けとめる
- ☆お話を聞く 心の声も聞く
- ☆一緒に笑う 手をつないで歩く 一緒に遊ぶ

「子育てで一番大切なこと」より

今しかない、大切な乳幼児期を、愛情いっぱいに育てていきたいものですね。



お願い

夏は日没も遅く、夕方も明るい日が続きます。それに伴ってお迎え後に園庭で遊ぶ子ども、保護者同士の交流する姿が多く見られます。ホッと一息つけるひと時だとは思いますが、一方では門扉の閉め忘れ、放置したままの遊具、駐車場、駐輪場問題など気になる点もあります。お子さんから目を離さないよう、また、遊んだ遊具の片付など、一声かけ合っていただけたらと思います。